

「競争心は出さないこと」浅田俊雄さん(北本荘)が近畿交通安全表彰章を授章しました



加古川警察署、加古川交通安全協会では、毎年9月に無事故・無違反の優良運転者に対し優良運転者表彰を行っています。銅章・銀章・金賞・金正章、さらに上位表彰である緑十字銅章・近畿交通安全功労者等表彰章が授与されています。

浅田俊雄さんは、昭和28年に18歳で自動車運転免許を取得後、現在の76歳まで無事故・無違反で大型貨物や観光バスの運転手業務に携わってきました。「ハンドルを握るときには、とにかく無事故でやらんといかん」という気持ち忘れず、指導助役として長距離バス運転手の指導にも携わってこられました。安全運転の秘訣を何うと「車に乗ると人が変わるとよくいうが、おとなしいほうに変わるのがよい。競争心は出さないこと、ゆるむ心をもつ」とが大事」と話されました。浅田さんは、これまでに金正章、緑十字銅章を授章されています。

認知症予防「脳いきいき元氣塾講座」

10月8日と22日、中央公民館で「脳いきいき元氣塾講座」が開催されました。この講座は4回講座としていますが、第1回目「認知症を予防するための生活習慣」から80人以上の参加があり関心の高さが伺えました。2回目は、転倒を予防するために筋肉を鍛えるという内容でイスに座ったままでもできる体操を教えていただきました。12月にも講座を2回予定しています。中央公民館で随時申し込みを受け付けていますのでたくさんの方のご参加お待ちしております。



▲熱心に受講する皆さん

第21回大中遺跡まつり 雨の中1万7千人の人で賑わいました

11月5日は、朝から小雨が降り始めていましたが小雨決行として、第21回大中遺跡まつりが開催されました。



▲古代行列にいせきくん、やよいちゃんが初参加



▲古代行列の子どもたち



▲雨の中での火起こしの儀



▲東北の特産品も販売されました



▲ダンボールで作る古代ムラ



▲兵庫大学の出店したワニ、カエル、ダチョウの肉に足を止める人がたくさんいました

一日中雨が降るあいにくの天候のため、子ども古代生活体験ゾーンが中止となるなど、予定通り執り行えなかったプログラムもありましたが、まつりを締めくくる火納めの儀は、予定よりおおよそ1時間早い午後3時30分に催され、第21回大中遺跡まつりは幕を閉じました。

楽屋裏

11月初め、庁舎の入り口にリボンがたくさんつけたクリスマスツリーが飾られました。でも、よく見ると飾られているリボンの色は赤ではなくオレンジです。これは、11月の「児童虐待防止キャンペーン(オレンジリボンキャンペーン)」にあわせて飾られたものです。職員も胸にオレンジ色のリボンをつけて意識しています。

一向に減らない児童虐待。少しでも「もしかして」と思うことがあれば迷わず通報してください。まち全体で、子どもたちの命を守っていききたいものです。(宮)

わんぱくはりまっ子



もりわき そうすけ 森脇 壮介くん(3歳)、かえで 楓ちゃん(11カ月) 東野 添

いつまでも兄妹仲良くね！ 父・母より

播磨ふれあいの家 だより



大乗寺とカニフルコースツアー 播磨ふれあいの家に宿泊した翌日、大乗寺拝観、浜坂下カニ料理を堪能するバスツアーです。

▶開催日 12月14日(水)、平成24年1月11日(水)、25日(水)、2月8日(水)、22日(水)、3月7日(水)、21日(水) 播磨町役場集合・解散
▶代金 15,800円(税・サービス料込み) 新巻鮭または、お造り用船内冷凍地物甘エビ500gのお土産つき
▶予約・問合せ ☎079(678)1481

いいね! はりま

町政 レポート No.59



▲丹精こめて育てた山野草が晴れ舞台に

立冬も過ぎ、本来ならコートを羽織ってもおかしくない季節ですが、今年はなかなか寒くなりません。週末には雨の日も多く、お天気を心配しながらの行事が多くありました。

◆第21回大中遺跡まつりも、今年は雨の中での開催となりました。播磨南高校の生徒さんによるコンサートで幕を開け、古代行列には子どもから高齢者まで多くの方が趣向を凝らした衣装で登場しました。出店していただいた町内外の団体や大勢のボランティアの方々も雨に濡れながらの一日となりました。しかしながら、夕方まで来場者が途切れることはなく、雨の日とは思えないほど大勢の方々のご来場をいただきました。関係いただいた方々には、例年にご苦勞をおかけしたことと思います。深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆今年初めて、播磨町山草会が中央公民館で「山野草展」を開催しました。中央公民館のロビーに、突然秋の野山が出現したような清々しい雰囲気になりました。洋花や豪華な花にはない山野草の魅力に心惹かれた方も多く、公民館に来られた方々が思わず足を止めて見入っていらっしゃる光景も拝見しました。その後、菊花展、美術展、文化祭など文化行事が続きましたが、年々定着してきた開催を心待ちにされている方々も多く、町内外からも多くの来場者がありました。これからも、文化薫るまちとして、いろいろな文化活動がいっそう盛んになるよう環境整備をしていきたいと思ひます。

◆播磨町に3年前開校した「県立東はりま特別支援学校」で11月2日、開校記念式典がありました。式典の中で、生徒代表の堂々とした素晴らしいあいさつに、来賓や会場から感嘆の声が上がりました。一人ひとりに寄り添ったきめ細かな教育をされている成果なのかもしれません。

播磨町長 清水ひろ子